

会報第20号を発行して

ことし2月に、日植調東北支部会報第20号を発刊することができたが、記念号として334頁の厚いものになった。いままで大体1年に1回発行してきたから第1号を発行してから20年余になる。その編集は、前半が当時事務局の東北農試で、後半は筆者が担当した。もとより素人の編集で稚拙は免れないし、当然東北一地域の問題が多い。その間、関係者の絶大など協力をいただき、継続できたことを感謝している。3月はじめまでに配布を終えたが、受領の通知や感想までいただいて、ホッとしている。

この会報を通じて20年間を顧みると、除草剤・植物生育調節剤ひいては東北農業の歴史的経過が記録されている貴重な農業史の一部であると思う。

それにしても、関係の調査資料や論文は、まとめておかないと散逸する恐れのあることを感じた。そのために、製本して保管したり、このような機会に集録しておくことの大切さを痛感した。

20年間の会報の内容を通覧すると、重要課題がその時代を表わしており、除草剤の効果を中心としたものが多いが、混合剤への発展や昭和45年ころの食糧増産時代から減反政策に転換したころの対応、作物の薬害・魚毒・矮化・気散の解決等が大きくとりあげられている。

いまでも継続して課題になっているものに、多年生雑草対策、農薬の環境に対する安全性等がある。いずれ、ご批判、ご指導をお願いする次第である。

〔財団法人 日本植物調節剤研究協会理事
東北支部長 藤巻竹千代〕

目 次 (第19巻第1号)

九州における落葉果樹園の草生管理…… 2

＜福岡県農業総合試験場 濱池文雄＞

は じ め に…………… 2

1. 土壌管理法の実態と今後…………… 2

2. 果樹園の草種と被度…………… 3

3. 除草剤の使用法…………… 4

1) 除草剤使用上の共通の注意

事項…………… 5

2) 各除草剤の使用上の注意…………… 6

3) 使 用 例…………… 7

お わ り に…………… 7

世界の農耕地雑草とその調査研究(6)

ゴマノハグサ科(1)

＜宇都宮大学 竹松哲夫・一前宣正＞

ゴマノハグサ科…………… 8

昭和59年度リンゴ用除草剤・生育調

節剤試験成績概要…………… 17

＜財団法人 日本植物調節剤研究協会＞

新登録除草剤一覧表…………… 24

新登録生育調節剤一覧表…………… 28

＜農林水産省農蚕園芸局植物防疫課＞

新除草・調節剤

・ピラゾキシフェン粒剤…………… 29

・ピラゾキシフェン・プレチラクロ

ール粒剤…………… 29

・セトキシジム乳剤…………… 30